

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



手を貸そう
LEND A HAND

2003～2004年度国際ロータリーのテーマ



んで尊んだのです。これが我が梅井のルーツです。

これから祭りの話をさせていただきます。曾根天満宮の祭礼を大別すると、神事と太鼓（やっさ）に分かれます。

神事は一ツ物神事と、それに付随して行われる、竹割りがあります。この一ツ物は、高砂神社、荒井神社にも見られる様です。

一ツ物とは、万一の事故が有っても、他に変わる事が出来ない、唯一のものと言う意味だそうです。この一ツ物神事は、平安末期頃から全国の祭りで取り入れられた。多くは歳月を経て簡略化されたが、曾根天満宮の一ツ物は古来の様式がよく保存されています。

この一ツ物に選ばれるのは、4～7才位の男児で、10月に入ると曾根天満宮に日参し、秋祭りに備える。祭礼当日は、汐かきをしたりして、心身の浄化をはかったりもします。

当日の衣装は、お公家さんが着る様な狩衣を身につけ、頭は山鳥の羽を立てた花笠と言う姿。

今年、増田会員のお孫さんが、この一ツ物に選ばれておられます。この一ツ物神事は県教委の「ふるさと伝統文化活性化事業」の指定を受けています。

次に太鼓（やっさ）に移りたいと思います。

文化5年、姫路市白浜町「松原八幡神社」にみこし形屋台が登場したのが、屋台のルーツらしい。

又、蒲団屋台は曾根天満宮が草分けと目され、文久元年の祭礼図絵馬には十一台の屋台が描かれています。

それから時を経て、日露戦争を契機に大いに華美になっていった形跡があります。

いまから蒲団屋台の構造を説明します。これらを参考にしていただいて、今年の秋祭りを楽しんで下さい。



例会記録 (2003. 9. 24 (水)) 通算1228回

ソング

「奉仕の理想」「歓迎歌」

来訪ロータリ
アン報告(亀本)

中村 卓 様 (高砂R.C.)

出席報告
(田中)

9月10日 会員数49名 欠席者 3名 出席率 93.88% <修正による>
9月24日 会員数49名 欠席者 17名 出席率 65.31%

委員会報告

◎ 米山奨学委員会 (岡本委員長)
米山功労者表彰が本年度より新しくなりました。既に功労者の方も含め、全員の方がこれを機会に特別寄付をお願いします。

ニコニコ報告

佐野 栄 作 …… 本日は本年度会員卓話トップバッター志方会員の卓話です。よろしく御願います。
志方正 昭 …… 本日卓話をさせていただきます。柿木さん、昨日はありがとうございました。

プログラム予定

| 9月24日(水) | 10月1日(水) | 10月8日(水) | 10月15日(水) |
|----------------|-----------|---------------|----------------------|
| 卓話 志方正 昭 会員 | 職業奉仕委員会担当 | 卓話 庄司 武 会員 | 定款第5条第1節(c) により休会 |

会長 田水敬雄 幹事 内橋英昭 クラブ会報委員長 大橋卓司
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

田中浩行 …… チョットニコニコ。
森脇祥文 …… 遅くなりましたが、誕生日お祝ありがとうございます御座居ました。
伊藤勝之 …… 早退します。
井野隆弘 …… 早退致します。
内海 薫 …… 早退します。
岡本崇司 …… 早退します。

幹事報告

第12回 通算1166回

- 9月20日(土) 加古川中央ロータリークラブの創立30周年記念式典に田水会長と私(内橋)が出席させていただきました。
- きほちゃんを救う会より
きほきは通信 15年9月 最終号が届いております。
お知らせ 「きほちゃんを救う会」から募金残高¥96,067,272をNPOはあとネット兵庫に委託されておりますのでご報告させていただきます。
- 高砂市共同募金委員会より
平成15年度赤い羽根共同募金「バッジ」が届いておりますので、お渡しをさせていただきます。
- 財団法人PHD協会より
2003.9のレターが届いております。
以上を回覧をさせていただきます。

会長の時間

加古川中央ロータリークラブ「創立30周年記念式典」に内橋幹事と共に出席しました。プログラム・記念事業については、案内を回覧してご紹介いたします。

とき：平成15年9月20日(土) 登録：13時00分～
式典：14時00分～15時00分 祝宴：15時30分～17時00分
ところ：加古川プラザホテル2階「鹿児の間」
講演会：10:30～12:00
会場 加古川市民会館小ホール
盛大でなごやかな式典でした。

本日のプログラム

卓話

志方正昭 会員

本日は秋祭りも近づいてきましたから、祭りの話を少しさせていただきます。メンバーの中に、広瀬さんの様な本職の方や、私より祭りについて詳しい方が沢山おられますが、まー聞いて下さい。

高砂市では、10月の初めから高砂神社、荒井神社、曾根天満宮等々7箇所も祭り事が行われます。

私は、日本のいたる所で祭りが執り行われていますが、我が高砂市内で行われる祭りが、最高だと信じています。

観光協会の中谷会長も居られますが、宣伝してくれとか頼まれたりはしておりません。

私は曾根天満宮の氏子ですので、曾根天満宮の話をさせていただきます。

我が国には数多くの神社が有って、様々な神々を祭っています。八幡宮や稲荷あるいは伊勢神宮をはじめとする多くの神々の祭神は、古事記や日本書紀または風土記の神話に語られている神々です。

それに対して、天満宮の祭神は、菅原道真と言う実在の人物なのですから、他の神社とは少し違います。

古代において、神々と人間とは全く異なった存在だと考えられていたから、たとえ死後であれ人間が神になるなどという事は、思いも及ばない事でした。実在の人物が死後に神として永久的に祭られることになったのは、実に菅原道真が初めてだったのです。菅原道真にまつわる話をすこししたいと思います。

今からお話する事はご存知の方も多いと思いますが、眠り薬だと思って聞いて下さい。

曾根天満宮には、菅原道真公が罪を問われ、太宰府に流される途中に、罪の無実なる事を誓われて「我に罪なくば栄えよ」と、植えられたのが初代の曾根の松です。現在は5代目になっています。

それからもう一点、これもよく知られた話なんですが、現在の播磨ゴルフセンターの西側あたりになるんですが、この土地に菅原道真公が立ち寄られた時、里人に水を乞われた。里人は「当地は海が近くて塩辛くて貴い方の口にはあいません」と言ったが、「それでもよい」と言って、口にされたのです。「これでは困るだろう」と言って、梅の小枝を地面にさして、「ここを掘ってみよ」と教えられた。言われた通りに掘ってみると、真水がこんこんとわき出した。それ以来、水に困ることなく、この井戸を「梅の井」と呼